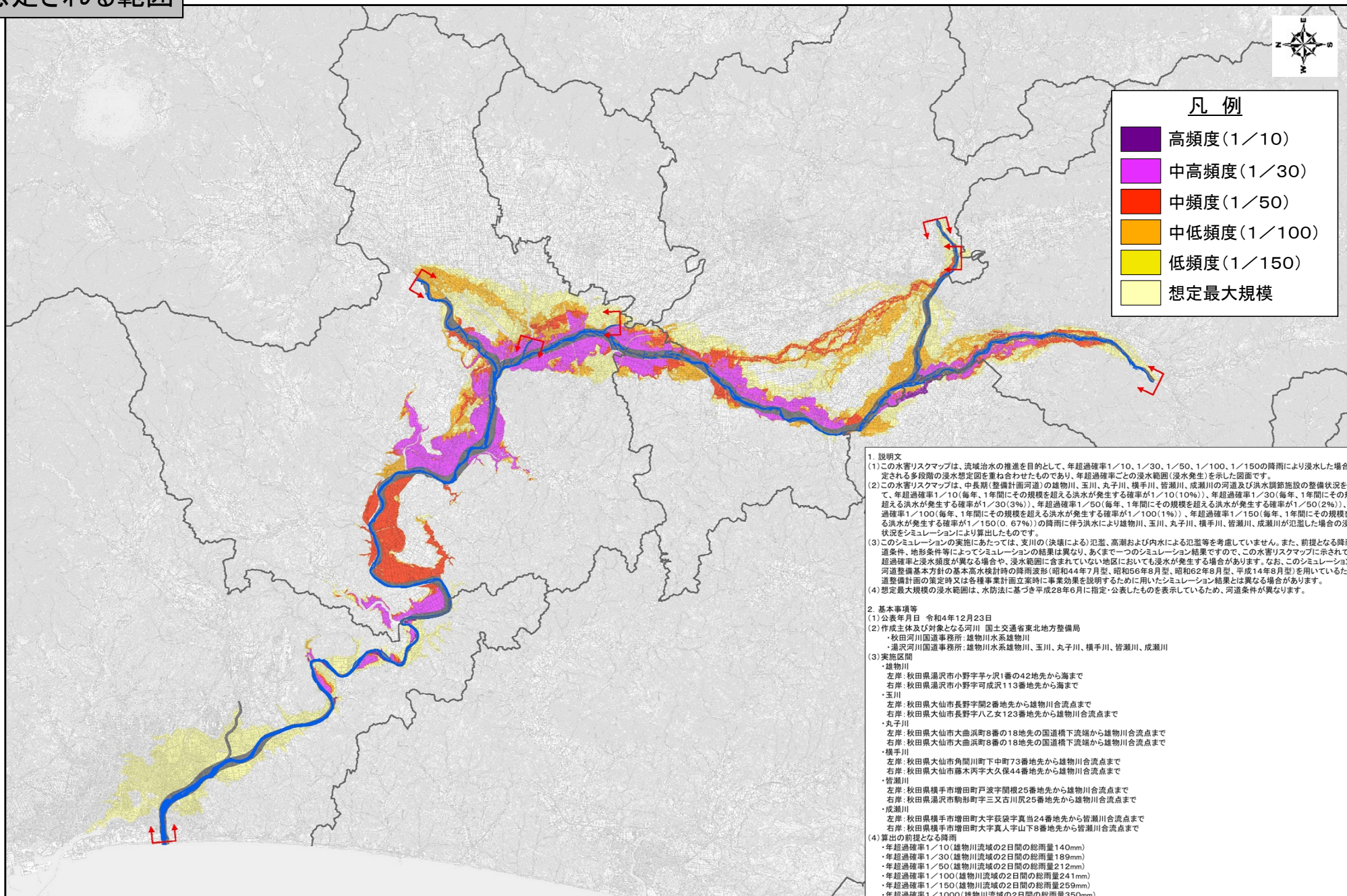


浸水が想定される範囲



高頻度(1/10)
中高頻度(1/30)
中頻度(1/50)
中低頻度(1/100)
低頻度(1/150)
想定最大規模

1 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面である。

(2) この水害リスクマップは、中長期(整備計画河道)の雄物川、玉川、丸子川、横手川、皆瀬川、成瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(1%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.67%)の降雨に伴う洪水により雄物川、玉川、丸子川、横手川、皆瀬川、成瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していません。また、前掲となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河道整備基本方針の基本高水校設計時の降雨波形(昭和44年7月型、昭和66年8月型、昭和62年8月型、平成14年6月型)を用いているため、河道整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年12月23日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
・秋田河川国道事務所 雄物川水系雄物川
・湯沢河川国道事務所 雄物川水系雄物川、玉川、丸子川、横手川、皆瀬川、成瀬川

(3) 実施区間

- ・雄物川
左岸: 秋田県湯沢市小野字芋ヶ沢1番の42地先から海まで
右岸: 秋田県湯沢市小野字可成沢113番地先から海まで
- ・玉川
左岸: 秋田県大仙市長野字開2番地先から雄物川合流点まで
右岸: 秋田県大仙市長野字八乙女123番地先から雄物川合流点まで
- ・丸子川
左岸: 秋田県大仙市大曲浜町8番の18地先の国道橋下流端から雄物川合流点まで
右岸: 秋田県大仙市大曲浜町8番の18地先の国道橋下流端から雄物川合流点まで
- ・横手川
左岸: 秋田県大仙市角間川町下中町73番地先から雄物川合流点まで
右岸: 秋田県大仙市藤木丙字大久保44番地先から雄物川合流点まで
- ・皆瀬川
左岸: 秋田県横手市増田町戸波字開根25番地先から雄物川合流点まで
右岸: 秋田県湯沢市駒形町字三又古川尻25番地先から雄物川合流点まで
- ・成瀬川
左岸: 秋田県横手市増田町大字萩袋字真当24番地先から皆瀬川合流点まで
右岸: 秋田県横手市増田町大字真人字山下8番地先から皆瀬川合流点まで

(4) 算出の前掲となる降雨

- ・年超過確率1/10(雄物川流域の2日間の総雨量140mm)
- ・年超過確率1/30(雄物川流域の2日間の総雨量189mm)
- ・年超過確率1/50(雄物川流域の2日間の総雨量212mm)
- ・年超過確率1/100(雄物川流域の2日間の総雨量241mm)
- ・年超過確率1/150(雄物川流域の2日間の総雨量259mm)
- ・年超過確率1/1000(雄物川流域の2日間の総雨量350mm)

(5) 河道条件: 中長期(整備計画河道)

(6) 関係市町村 秋田市、大仙市、仙北郡美郷町、横手市、雄勝郡羽後町、湯沢市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。